

選挙制度について

村田俊太郎 議員

問 投票所に入場できる者、身体障がい者及びセラピードッグ等を伴う者等への対応と、稗田団地内の集会場を投票所にする事への考えをお聞かせください。

答 公職選挙法に基づき、投票所には原則投票する方以外入れませんが、投票管理者の判断で可能な限り介護者やセラピードッグ等の同伴に対応しております。また、スロープ設置等によるバリアフリー化に努め、必要に応じ事務従事者による介助を行える人的体制を整えております。投票所の増設については、現状の投票所数が適正な規模であり、また全国的に減少している中厳しい側面があります。今後とも可能な限り投票環境の改善に努めてまいります。
・他の質問項目：コロナ対策について

学力の向上について

関本 真樹 議員

問 令和3年度全国学力・学習状況調査の結果を見ると本市の小中学生は読解力に課題が見られる。読解力を測定したうえで向上に取り組み、そこから学力全体の底上げを進めていくべきと考えるがどうか。

答 読解力の課題においては、定期テスト等で測定し、県教育研究所の研修会を参考に授業改善を進め、読解力の向上につなげてまいります。学力全体の底上げには、GIGAスクール構想で整備された1人1台のタブレットを活用し、「主体的で対話的な深い学び」が実現できるよう、授業にアクティブ・ラーニングの視点を取り入れ、積極的に能動的な授業や学習に取り組んでいきたいと考えております。

① 特別支援学級について

② 気候危機について 徳野 衆 議員

問 ①全国的な少子化の中、発達的な課題のある子どもの人口は増え続けている。本市の特別支援学級の児童・生徒数は10年前の2.3倍になっており、保護者からは今以上の「特別支援教育支援員」の補充が求められているがどうか？②市としてCO2削減のため「カーボンゼロ宣言」と国が求める「区域施策編」の策定はどうか？

答 ①特別支援学級の児童・生徒数が増加すると共に、個々の支援内容も多様化しています。支援員の増員も当然必要ですが、支援員のスキルアップのための研修を行う等、専門性の高い人材の育成にも努めます。②区域施策編の策定について、市全体の温室効果ガスを把握する必要があり、すぐには困難であるものの、調査・検討します。

2日目

ごみ処理場「広域化」離脱について

丸谷 利一 議員

問 上田市長は奈良市・斑鳩町との間のごみの広域化勉強会の離脱を発表した。一部自治会の反対をその理由としているが、ごみ処理施設を広域化で建設すれば、建設費用とランニングコストで60億円近いコスト削減が予想される。広域化は全国的な大きな流れであり、市民全体の利益の優先が大事。広域化離脱を見直しすべきである。

答 広域化には新施設が新たな場所に建ち大量のごみを搬入することから周辺住民の理解を得ることが大前提としてきた中、反対の要望書が出てきたこと、建設コスト以外の用地購入や周辺整備の費用面でのメリットが明確でないこと、スケジュールも合わないこと等に加え、現施設の管理運営状況も踏まえ総合的に判断しました。

① 新たな経済対策について

② 水管橋について 福田 浩実 議員

問 ①公明党が公約としていた18歳(高校3年生)以下の子ども1人当たり10万円相当の給付について、年内に一括で10万円現金給付を要望しますが、お考えは？また、マイナンバーカードとマイナポイントの周知徹底のお考えは？②水管橋の老朽化対策と情報公開のお考えは？

答 ①子ども1人当たり10万円相当の給付については、受給される方の利便性などを考慮し年内の10万円一括現金給付を行います。マイナポイントについては、国から詳細な情報が示され次第広報・周知を行います。②管路整備計画に基づき年次計画的に老朽化対策を進めています。情報公開については、「ふれっしゅ郡水」や市ホームページ等で水管橋等施設の整備状況の発信に努めます。

耕作放棄地について

吉川 幸喜 議員

問 耕作放棄地を減らすため、なら担い手・農地サポートセンターの「農地バンク」の積極的な活用や、コメの買入価格への助成としてJA出荷分に30kg当たり500円程度の補助、耕作放棄地にコスモスを植えての景観形成を提案しますが、市のお考えをお聞かせください。

答 本市ではサポートセンターを最大限活用し40.4haの農地が担い手に集積されており、県内でも上位に位置しますが、条件がよくない所はマッチングが進んでおらず、全国的な課題となっています。コメの助成は、コメを自由に販売出来る中での助成の基準が難しく、他業種の理解を得ることも課題です。コスモスは、もし、適地があればご提案頂き取り組んでもよいのではと考えます。